

明日香村阪合地区公有地等住宅開発事業に係る住宅等建設事業パートナー登録募集要項

提供資料 4. 阪合地区における「設計ガイドライン(案)」

今後、居住希望者ワークショップ及び明日香景観レビュー委員会の検討等によって、「建築等に関するルール（最低限守る必要のある事項）とガイドライン（守るよう努力すべき事項）」として豊かに整備されていく予定です。

項目			マナーの内容	
共有空間			・集落を含めた住民同士の交流に利用でき、住民が協働で管理するコモンスペースを設ける。 ・旧小学校の石碑や檜前の固有性を意識することができる記念碑の設置を行う。	
街路			・直線的な街路形状は避け、緩やかに曲がった形状を基本とする。 ・幅員は車の通行に支障がない程度に抑えつつ、所々にふくらみのある空間を設けるなど、車のすれ違いができるように配慮する。 ・歩行者のための小道を設け、住宅と自然を結ぶ道として日常生活でよく利用される空間となるよう設える。	
建築物	配置		・屋根並みが美しい薨の波を表現できる建物の配置とする。 ・棟を原則として東西方向に向け、切妻屋根を村道に対して並べ、漆喰と板張りの壁や塀、生垣などを沿道景観の構成要素とする。 ・2階建ての主屋とともに、駐車場などは平屋の付属屋として設えるなどの工夫を行う。	
	規模	屋根	・住宅の規模と不調和な大規模な屋根は避け、分節化や高さに変化をつけるなどの工夫を行う。	
	形態意匠		・周辺の丘陵地からの俯瞰景として、檜前及び御園集落の家並みとの一体性を創出するため、集落の民家における屋敷構えの特徴の継承を意識する。	
			屋根	・屋根の高さは一様にせず、主屋の屋根を最も高くし、付属屋の屋根の高さには変化を持たせる。 ・屋根は瓦葺の切妻又は入母屋の形状を基本とする。
			外壁	・白色又は黒色の漆喰や板張り又はそれらに類する仕上げとする。 ・住宅地の外側に面する住宅は、住宅地全体の顔となるため、丘陵地や道路からの景観を特に意識し、周辺の集落景観との調和に十分配慮したファサードとする。
工作物	形態意匠	擁壁	・宅地と路面に段差が生じる場合は、石積みを設ける。	
		塀	・塀は漆喰や板張り又はそれらに類する仕上げとし、上部には瓦を葺く。 ・街路と宅地の敷際は、オープン外構はなるべく避け、石積みを施した塀や生垣などで敷地を囲うように設える。	
緑化・植栽	生垣			
	庭木		・周辺の農地、周囲の丘陵地にみられる社叢や果樹園、背景となる山々との調和やつながり意識して、生垣や庭木等を配置する。 ・敷地内には、周辺の丘陵地や街路から一部が見えるように中高木を植える。 ・街路に面して駐車スペースなどの空間を設ける場合は、花木などの植栽を施す。	
屋外広告物			・良好な眺望を乱さないよう、掲出場所や配置等に配慮する。 ・明日香村の歴史的風土との調和に配慮した材料ならびに形態・意匠とし、複数の色彩を使用する場合は、けばけばしいものにならないよう色の組み合わせや使用する面積に配慮する。	